

熊本日日新聞提供

二〇二四年一月三十一日掲載

EV部品生産増強 菊池市と立地協定

サンコール
7億円投資

自動車や電子機器向けのばねを生産するサンコール菊池（菊池市）は30日、電気自動車（EV）向け部品生産の設備増強に向け同市と立地協定を結んだ。EV向けに、大きな電流を流すことができる配電用部品バスバーを新たに生産する。既存工場（床面積約8300平方メートル）内の空きスペースにバスバー製造ラインを整備。敷地内に製品保管用の倉庫も新設する。投資額は約7億円で、新たに10人を雇用する計画。11月の

本格稼働を予定している。

この日、県庁であった調印式で、春田高宏社長は「これまで培ってきたばねの加工技術を生かし、安定してバスバーを生産していきたい」と話した。

同社は自動車部品メーカーのサンコール（京都市）の子会社で、23年3月期の売上高は12億2千万円。サンコールは愛知県豊田市の広瀬工場でバスバーを生産しており、EV向け需要の増加に伴えばねの加工技術に強みを持つ菊池の増産を決めた。（山本文子）

熊本・九州
けいざい